

2024年度競技規則修改のポイント

2024年3月10日

中田光哉(JTO)

全体②

・条文内容の移動・記載場所の変更による、条文番号の変更・追加や参照条文番号の変更

(例) CR18.5(審判長による警告・除外) → 新TR7.1
 TR7.1(競技規則違反時の失格の扱い) → 新TR7.2
 TR2～7.4(競技規則違反時の失格の扱い) → 新TR7.3～7.5

CR31(世界記録)
 CR32(世界記録種目)
 CR33(U20世界記録種目) → 新CR31(世界記録)
 CR34(室内世界記録種目) 新CR32(世界記録とU20
 CR35(U20室内世界記録) 世界記録種目)

全体①

・「ワールドランキングコンペティション定義」での競技会分類に変更

【WA】

- 2022年11月修改正「国際競技会定義」を「ワールドランキングコンペティション定義」に変更するも、競技規則全体での見直し未了
- 2023年5月修改正で競技規則全体に変更反映

(例) 国際競技会定義1.1、1.2、1.3の競技会

→ワールドランキングコンペティション定義1.(a)(b)(c)に該当する競技会

競技会規則【CR】

・CR3.1 WA関連競技役員の名称変更

- ITO'S → ワールドアスレティクスレフェリー(WALフェリー)
- 国際競歩審判員 → ワールドアスレティクス競歩審判員(WA競歩審判員)
- 国際スターター → ワールドアスレティクススターター(WAスターター)
- 国際写真判定員 → ワールドアスレティクス写真判定員(WA写真判定員)

・CR8 ITO'SとJTO'S → WALフェリーとJTO'S

- JTOの名称、役割は変更なし(WALフェリーに準じた役割)

・CR9 IRWJ'SとJRWJ'S → WA競歩審判員とJRWJ'S

- JRWJの名称、役割は変更なし

・CR14 競技会ディレクター〔国際〕

- 役割、業務内容の詳細化

競技会規則【CR】**・CR18.5 審判長の権限**

- 競技者にあるまじき行為・下品な行為に対する警告・除外権限
→具体的な内容はTR7へ移動

・CR25.4 スタートリスト・結果に用いる略語

- (追加) 抽選による次ラウンドへの進出 **qD**
- (追加) 抗議中の競技 **P**

・CR25.5 TIC

- バーチャルTIC(Web方式TIC)の設置
→〔国内〕主催者判断で設置可能
(個別検討要)
インフラ整備、関係者への連絡方法、運用時間 等

競技会規則【CR】**・CR31 世界記録②**

- **直送路でしか認められない競技(屋外・室内共通)**
✓ 50m、60m、100m、50mH、60mH、100mH、110mH

➢ 記録公認の風の条件(200m以下の競走) <TR31.14.3/TR17.11>

- ✓ 屋外の競技場(ショートトラックの200mを除く) 200mまで :必要
(ショートトラックの200m) 200mShのみ:不要
- ✓ 室内の競技場 :不要

競技会規則【CR】**・CR31 世界記録①**

➢ 記録分類の変更

- ✓ 現在の「屋外競技場での記録」と「室内競技場での記録」分類の廃止
- ✓ 「400m(標準)トラックでの記録」と
「200m(標準)〈ショートトラック〉での記録(sh)」に種目としての分類
変更

✓ 競技場の「屋外」「室内」は区別なし

現行		修正後
世界記録	⇔	世界記録
U20世界記録		U20世界記録
室内世界記録		世界記録(sh)
U20室内世界記録		U20世界記録(sh)

- ✓ 200m超のトラックでの記録は、400mトラックでの記録に分類
200m未満のトラックでの記録は、ショートトラックでの記録に分類

競技会規則【CR】**・CR31 世界記録③**

- フィールド競技は従来の「屋外」「室内」の区別なし
✓ 但し、足許では「室内」でマークされた記録(i)を明記したまま

競技会規則【CR】

・CR31 世界記録④

種目	男子		女子		計時方法	
	男子	女子	U20男子	U20女子	電子	手
50m	○	○	—	—	○	○
60m	○	○	—	—	○	○
100m	○	○	○	○	○	○
200m	○	○	○	○	○	○
200mah	○	○	○	○	○	○
400m	○	○	○	○	○	○
400mah	○	○	○	○	○	○
800m	○	○	○	○	○	○
800mah	○	○	○	○	○	○
1000m	○	○	○	○	○	○
1000mah	○	○	○	○	○	○
1800m	○	○	○	○	○	○
1800mah	○	○	○	○	○	○
2000m	○	○	—	—	○	○
2000mah	○	○	○	○	○	○
3000m	○	○	○	○	○	○
3000mah	○	○	○	○	○	○
6000m	○	○	○	○	○	○
6000mah	○	○	○	○	○	○
10000m	○	○	○	○	○	○
1時間	○	○	—	—	○	○
3000m障害	○	○	○	○	○	○

競走競技

競技会規則【CR】

・CR34 日本記録①

➤記録分類の変更

✓世界記録の分類に合わせて、日本記録の分類を変更

現行	⇒	修正後
日本記録		日本記録
U20日本記録		U20日本記録
U18日本記録		U18日本記録
室内日本記録		日本記録(sh)
U20室内記録		U20日本記録(sh)
U18室内記録		U18日本記録(sh)

✓日本記録の対象となる種目、公認記録の対象となる種目を明示
(日本記録となる種目≠公認記録となる種目)

公認記録
日本記録

競技会規則【CR】

・CR34 日本記録②

種目	男子		女子		U20男子		U20女子		U18男子		U18女子		公認種目 公認記録		公認種目 公認記録	
	男子	女子	U20男子	U20女子	U18男子	U18女子	U20男子	U20女子	U18男子	U18女子	公認種目	公認記録	公認種目	公認記録		
50m	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○		
60m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
100m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
200m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
200mah	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
400m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
400mah	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
800m	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	
800mah	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	
1000m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1000mah	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1800m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1800mah	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2000m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2000mah	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	
3000m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3000mah	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6000m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6000mah	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10000m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10000mah	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1時間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3000m障害	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3000mah	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

競走競技

競技会規則【CR】

・CR34 日本記録③

➤新たな種目(500m・600m等)は施設用器具委員会による検定が必要なものもあり

⇒どの競技場でも新たな「公認種目」の競技ができるわけではない

競技会規則【CR】

・参照(2023年度ルールブック記載)

➤ 国内の常設公認200mトラック競技場

加西市立善防中学校 兵庫県
新宮市民運動 和歌山県

➤ 国内の常設公認室内競技場

ベル・アスレティクスジャパン室内棒高跳場 群馬県 PV
高松市屋島室内棒高跳競技場 香川県 PV
中京大梅村 室内直走路 愛知県 50m、60m、100m
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅室内 鹿児島県 50m、60m
100m、110m、HJ、PV、LJ、TJ

競技会規則【TR】

・TR4.4参加の拒否

➤ 国内でも適用可能に変更(主催者判断)

- ✓ TR4.4.1～4.4.3に該当する競技者は、正当な理由がない場合を除き、当該行為があったら、それ以降の全ての全種目に参加できない
- TR4.4.1 当該種目に出場することの最終確認がされていたにもかかわらず出場しなかった。
- TR4.4.2 予選や準決勝等でそれ以降に出場する資格を得たのに出場しなかった
- TR4.4.3 誠実に全力を尽くして競技しなかった

➤ 適用する場合は、要項・注意事項等に記載

- ✓ 競技会の性格(例:対抗戦)によっては、適用が難しいケースあり

競技会規則【TR】

・TR4.3同時申込

➤ ワールドランキングコンペティション(WRK)では、原則適用する

- ✓ TR4.3 試技を行うべき順番の際に競技者不在の場合は、試技時間が過ぎたら「パス扱い」とする

〔国内〕 HJ及びPVでは、事前に申告すれば「無効試技扱い」とすることができる

→ **〔国内〕適用不可**

* パス : その高さは跳べない

無効試技 : その高さの1回目(2回目)は跳べないが、2回目(3回目)は跳べる

競技会規則【TR】

・TR5.2 競技用靴底厚変更(告知済・再確認)①

➤ 2024年11月1日から変更

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
トラック種目 ハードル種目 障害物競走	20mmスパイクシューズ又はノン・スパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の厚さは、道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mmスパイクシューズ又はノン・スパイクシューズ	全跳躍種目で、本規程10.3及び10.4に記載の通り、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを越えてはならない。(前足の中心は靴の内部の長さの75%にある靴の中心点。踵の中心は、靴の内部の長さ12%にある靴の中心点)
道路競技(競走、競歩)	40mm	
クロスカントリー	20mmスパイクシューズか40mmノン・スパイクシューズ	競技者はスパイクシューズでもノン・スパイクシューズ(ロードシューズなど)を履くことができる。スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは20mmを超えてはならない。ノン・スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは40mmを超えてはならない。
マウンテンレースとトレイルレース	制限なし	

競技会規則【TR】

・TR5.2競技用靴底厚変更(告知済・再確認)

➢ 影響がある種目と靴底厚上限

- ✓トラック種目(800m以上・障害物競走を含む) 25mm→**20mm**
- ✓三段跳 25mm→**20mm**
- ✓クロスカントリー(スパイクシューズ) 25mm→**20mm**

競技会規則【TR】

・TR7失格

➢ 警告及び失格に関する関連条文の再編・条文番号変更

- TR7.1 誠実に力を尽くしての参加、反スポーツマンシップ行為及び不適切な行為(現CR18)
- TR7.2 競技規則違反による失格の取り扱い(TR7.1非適用時)
(現TR7.1)
- TR7.3 競技規則違反による失格の取り扱い(TR7.1非適用時)
～7.5 (現TR7.2～7.4)

競技会規則【TR】

・TR6.4.5許可される助力(フィールド種目の競技者によるビデオ映像確認)

➢ 要件緩和

- ✓録画再生機器や録画映像は録画映像を提供する者のすぐ近くの位置(コーチボックス近辺)であれば、競技区域内に持ち込むことが認められる

許可: 競技者が手に持って、操作して確認すること

禁止: 競技者自身が録画機器等を招集所から持ち込むこと

映像確認後に競技場所等へ再生機器等を持ち込むこと

「違反にならない助力」の一つとして認められるのであり

「手にとって見られるようにしなければならない」ということではない

競技会規則【TR】

・TR8.4トラック種目のスタートに関する現場での抗議(競技中の抗議)

➢ SIS使用時のみ、国内でも適用可能に変更(主催者判断)

- ✓「抗議中」として競技することを認めた場合
 - 競技者に「赤白カード」(斜め半分)を提示
 - 関係者間で情報共有

➢ 適用する場合は、要項・注意事項等に記載



・TR8.5フィールド種目の現場での抗議(競技中の抗議)

➢ 国内でも適用可能に変更(主催者判断)

- ✓抗議を認める場合には、記録の保全を徹底
- 適用する場合は、要項・注意事項等に記載

競技会規則【TR】

- ・TR16.5.3スタートの中止事由の見直し
 - (現行) 「On your marks(位置について)」または「Set(用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者の妨害をした時
 - (修正後) 「On your marks(位置について)」または「Set(用意)」の合図後、音声や動作、その他の方法で他の競技者の妨害をし、その結果、その選手が他の競技者の不正スタートを生じさせた時
 - 現状、「ピクつき(局所的な動き)」に対して「警告(イエローカード提示)」としている運用の見直し検討へ

競技会規則【TR】

- ・TR17.10、17.12 風力計測
 - 50m、55m60m競走(含むハードル)が屋外でも行われることから計測位置・計測時間を明示
 - ✓ 位置 フィニッシュライン手前 :30m
 - ✓ 計測時間 屋外 :5秒間
 - 屋内 :不要
 - ショートトラックで行われる200msh
 - ✓ 計測時間 屋外 :不要
 - 屋内 :不要

競技会規則【TR】

- ・TR17.1レースにおける妨害
 - 現TR17.2.1→新TR17.1.1(変更なし)
 - 妨害行為が意図せずに引き起こされた場合・・・
 - た時
 - 現TR17.2.1→新TR17.1.1(変更あり)
 - 別の競技者が妨害行為を意図的に引き起こしたと審判長が判断した場合・・・
 - 別の競技者が妨害行為の責任があると審判長が判断した場合・・・
 - ✓ 違反者意図的に行ったかどうかに関係なく、審判長が判断する

競技会規則【TR】

- ・TR20.4 シードレーン①
 - 種目によって異なるシードレーンとする
 - ✓ TR20.4.3 直線種目(100m・100mH・110mH等)

上位グループ	3・4・5・6レーン	1・2・3・4・5・6・7・8
中位グループ	2・7レーン	下・中・上・上・上・中・下
下位グループ	1・8レーン	
 - ✓ TR20.4.4 200m競走

上位グループ	5・6・7レーン	1・2・3・4・5・6・7・8
中位グループ	3・4・8レーン	下・下・中・中・上・上・上・中
下位グループ	1・2レーン	

競技会規則【TR】

・TR20.4 シードレーン②

- ✓ TR20.4.5 400m競走・スタート時にレーンを使用する競走・
4×400mRまでのリレー競走

上位グループ 4・5・6レーン

中位グループ 3・8レーン

下位グループ 1・2レーン

1・2・3・4・5・6・7・8

下・中・上・上・上・中・下

- ✓【国内】TR20.4.3～20.4.5の考え方に加え、以下の考え方を適用
しても良い

上位グループ 3・4・5・6レーン

中位グループ 7・8レーン

下位グループ 1・2レーン

1・2・3・4・5・6・7・8

下・下・中・中・上・上・上・中

競技会規則【TR】

・TR30.1.1、TR32.14フィールド競技の跳躍時・投てき時の靴紐等の扱い①



競技会規則【TR】

・TR24.11 リレーオーダー用紙提出締切り時間

- 【国際】各ラウンド第1組のFirst call Timeの1時間前までに申告
→各ラウンドの各組のFirst call Timeまでに申告
- 【国内】**変更なし**(各ラウンド第1組招集完了時刻の1時間前までに申告)

競技会規則【TR】

・TR30.1.1、TR32.14フィールド競技の跳躍時・投てき時の靴紐等の扱い②



競技会規則【TR】

・TR30.1.1、TR32.14 フィールド競技の跳躍時・投てき時の靴紐等の扱い

- 跳躍 靴本体ではなく、靴紐など靴の緩んだ部分が踏切線の垂直面より前に出たとしても、無効試技とは見なさない
- 投てき 靴の緩んだ部分(靴紐など)や衣装、または身につけていたその他のアイテム(帽子など)が、投てき開始時、投てき中または投てき後に、足留材上部に触れたとしても、無効試技とは見なさない

競技会規則【TR】

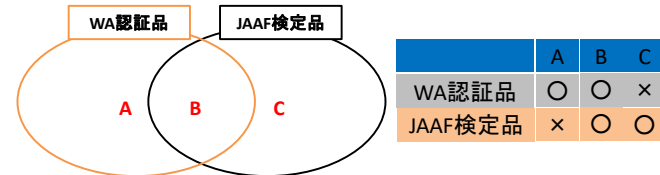
・TR32.1 WRKで使用する投てき物②

- 「WA認証品だが、JAAF非検定品」の扱い
 - ↳ 検査合格であれば使用可
- 個人持込投てき物として、TR32.2に従い検査
- 競技場備付の投てき物(JAAF検定品)であっても、WA非認証品は使用不可。競技場によっては、「競技場備付投てき物」のみでWRKが開催できない懸念あり
- 主催者としての留意すべきこと
 - ✓ WRK申請をする前に、競技場に「WA認証品投てき物」が備え付けられているか確認
 - ✓ JAAF非検定品の検査を行う公式計測員や計測員の確保

競技会規則【TR】

・TR32.1 WRKで使用する投てき物①

- WRK大会で使用する用具(投てき物)はWAが定める現行の規格に合致したものでなければならない。投てき物はWAが認証した物のみとする
- 【国内】ワールドランキングコンペティションではWA認証品のみを使用する
- 但し、WA認証品かどうかの証明は、持ち込んだ競技者が行う



✓ WRKではA・Bの投てき物しか使用できない

競技会規則【TR】

・TR32.1 WRKで使用する投てき物③

- 競技場備え付け投てき物のチェック(依頼事項)
 - ✓ 「競技場備え付け投てき物一覧」にWA認証品に該当する投てき物はWA認証番号も記載
- ✓ WA認証品 特定方法
 - WA認証シールの確認(IAAF時代などの古い認証シールも可)
 - WA認証品リストからの特定

問い合わせ先

- ・施設用器具委員会
- ・陸連事務局



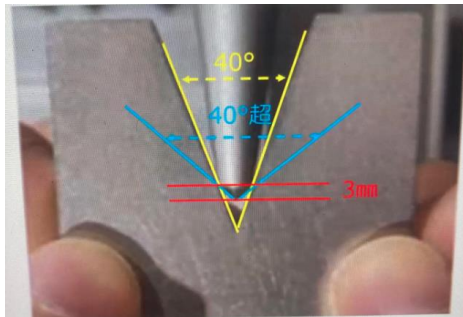
競技会規則【TR】

・TR32.2 個人持込投てき物の数

- [国際]2個まで持込可能(主催者用意と同じモデルでも可)
[国内]変更無し(主催者用意のモデル以外なら、2個まで持込可)
- 国内でも[国際]を適用可能(主催者判断)
 - ✓日本選手権やWRK等
 - ✓適用することは競技会ごとに主催者が判断

競技会規則【TR】

・TR38.7 やりの穂先の角度②



競技会規則【TR】

・TR38.7 やりの穂先の角度①

- 先端部の角度は40°を超えないものとする
[注意]先端に安全対策がなされた構造のやりの場合、金属製頭部の先端から3mmまでは、先端の角度を無視してもよい



競技会規則【TR】

・TR38.10 やり(男子U18)規格

➢ 2025年4月1日から変更

(現行)

(変更後)

やり	男子 U18	
	(現行)	(変更後)
競技会で許可され公認される最小重量 (グリップの紐を含む)	700g	700g
全長	2m300~2m400	2m400~2m500
金属製穂先の長さ	250mm~330mm	250mm~330mm
金属製穂先の先端から重心までの距離	860mm~1m000mm	850mm~890mm
重心から尾部までの距離	1m300~1m540	1m410~1m650
一番太い部分の柄の直径	23mm~28mm	23mm~28mm
グリップの部分の幅	150mm~160mm	150mm~160mm
末尾の直径	3.50mm以上	3.5mm以上

- 但し、国内では「男子U18」の競技は、ほとんど実施されていない

主催者判断による〔国際〕の国内適用（適用できる）

- CR25. 5 バーチャルTIC
- TR4. 4 参加の拒否
- TR8. 4 トラック種目のスタートに関する現場での抗議
- TR8. 5 フィールド種目での現場での抗議
- TR32. 2 個人持込ができる投てき物の種類

WRK

- 国内で行われるほとんどのWRK(定義:3a. とb)では〔国際〕をすべて適用する必要はなく、**以下を除き、国内規則の適用で可**
 - ✓ 必ず適用しなければならないと明記のあるもの
 - ✓ 競技者にWA規則よりも多くの権利を与える(有利になる)もの
- 但し、WRKによっては(定義:1. a～e.、2.a～e.)、〔国際〕適用必須